

地域総合医学 地域総合診療医学コース

担当講座	総合診療医学講座			問合せ先	総合診療医学講座		
分野責任者	下沖 取 教授			連絡先	医局 内線6304		
担当教員	下沖 取 教授 大間々 真一 准教授 高橋 智弘 講師 米田 真也 講師 山田 哲也 助教 菊地 大輝 非常勤講師 遠藤 秀彦 非常勤講師 加藤 博孝 非常勤講師 伊藤 達朗 非常勤講師 高橋 宗康 非常勤講師 坪井 潤一 非常勤講師 井上 和男 非常勤講師						
人材育成の 基本理念	疾患、臓器、年齢、性別に拘わらずに全身を全人的に評価できる知識と技能を有し、総合診療医学の発展に寄与できる研究能力を備えた医療者を育成する。						
主な研究内容	総合診療・地域医療に関わる疫学的・臨床的研究を行う。						
教育成果 (アウトカム)	教育成果					該当するディプロマポリシー	
	①総合病院から診療所で総合的・全人的診療に関わり、また地域包括ケアシステムの中で活躍できるようになる。 ②疫学的・臨床的研究を行う基本的能力を身につけ、自ら研究課題を立案、研究を遂行し、課題を解決できるようになる。					1, 2, 3, 4, 5, 6	
到達目標	到達目標			対象科目			
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。			医学概論			
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。			特別研究Ⅰ・Ⅱ			
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。			特別研究Ⅰ・Ⅱ			
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。			多職種連携チーム医療			
	(5)次世代の育成に貢献できる。			特別研究Ⅰ・Ⅱ			
	(6)総合診療の概念を理解し、実践のための知識・技術を説明できる。			地域総合診療医学基礎修練 1～4、総合診療医学1			
	(7)地域医療実践のために必要な知識・技術・地域連携について説明できる。			地域総合診療医学基礎修練 1～4、地域医療学1			
	(8)総合診療に関する科学論文を正しく解釈し、説明できる。			地域総合診療医学基礎修練 1～4、総合診療医学2			
	(9)地域医療に関する論文や研究成果を解釈し、地域社会参加型研究について説明できる。			地域総合診療医学基礎修練 1～4、地域医療学2			
資格取得等	総合診療専門医取得に必要な知識と技能を修得できる。日本プライマリケア連合学会認定薬剤師・同認定看護師取得に必要な知識と技能を修得できる。						
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じる。						

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	必修	1年	演習	地域総合診療医学基礎修練 1	通年	30コマ	4	20単位	
		1年	演習	地域総合診療医学基礎修練 2	通年	30コマ	4		
		2年	演習	地域総合診療医学基礎修練 3	通年	30コマ	4		
		2年	演習	地域総合診療医学基礎修練 4	通年	30コマ	4		
		1年	講義	総合診療医学1	通年	8コマ	1		
		1年	講義	地域医療学1	通年	8コマ	1		
		2年	演習	総合診療医学2	通年	8コマ	1		
		2年	演習	地域医療学2	通年	8コマ	1		
特別研究	必修	1年		特別研究Ⅰ（中間審査）	通年	15コマ	2	4単位	
		2年		特別研究Ⅱ（論文作成）	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

地域総合医学 地域総合診療医学コース

[illegible]

コード	MM12191050					MM12191060					MM12191070					MM12191080				
科目	総合診療医学1					地域医療学1					総合診療医学2					地域医療学2				
科目責任者	大間々真一					下沖収					下沖収					下沖収				
担当者	大間々真一、高橋智弘、 米田真也、菊地大輝					下沖収、坪井潤一、大間々真一、 高橋智弘、伊藤達朗					下沖収、大間々真一、 高橋智弘、高橋宗康					下沖収、坪井潤一、 遠藤孝彦、加藤博孝、伊藤達朗				
会場	内丸メディカルセンター					内丸メディカルセンター					内丸メディカルセンター					内丸メディカルセンター				
区分等	区分	講義	単位	1		区分	講義	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1	
	回数	通年8コマ	配当年次	1		回数	通年8コマ	配当年次	1		回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	2	
主な授業内容	総合診療に関わる各種資料、論文抄読、研究発表手法について学ぶ					地域医療課題の解析と課題解決方策					総合診療に関わる研究を進める手法、研究ステップ					BCPを含む災害時の対応や病院経営マネジメント				
教育成果	総合診療研究に関する論文を渉猟し、研究発表への活用と実際の研究発表ができるようになる。					超高齢社会の到来による日本の医療提供体制の変容、地域医療構想や医療・介護・福祉連携の課題などについての情報収集を行い、課題解決に繋げる方略と研究計画を立案できるようになる。					総合診療や地域医療に関するリサーチクエストから研究デザイン、研究実施までの具体的なステップを学び、実際の研究に関わる研究成果を参照しながら、自らの研究課題をまとめていく科学的手法を習得する。					東日本大震災時の対応事例を検証し、BCPならびにリスクマネジメント、さらには病院経営に必要な各種マネジメントについて説明できるようになる。学びにあたり地域医療に関する論文や研究成果を抄読し、地域社会参加型研究について述べる事ができる。				
コンピテンス番号/達成度	コンピテンス1 B	コンピテンス2 B	コンピテンス3 B	コンピテンス4 B	コンピテンス5 B	コンピテンス1 B	コンピテンス2 B	コンピテンス3 B	コンピテンス4 B	コンピテンス5 B	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A
	コンピテンス6 B					コンピテンス6 B					コンピテンス6 A					コンピテンス6 A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書	福原俊一.臨床研究の道標. 第2版 上・下巻, 東京, NPO法人 健康医療評価研究機構, 2017. 戈木クレイグヒル 滋子. 質的研究法ゼミナール 第2版, 東京, 医学書院, 2013																			

●各科目の授業計画

地域総合医学 地域総合診療医学コース

コード	MM12199010				MM12199020											
科目	特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ											
科目責任者	各（正）指導教員				各（正）指導教員											
担当者	各指導教員				各指導教員											
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定											
区分等	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2								
	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2								
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備											
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞ 1 年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞ 学修時間までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。											
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1 B	コンビ・テンス2 B	コンビ・テンス3 B	コンビ・テンス4 B	コンビ・テンス5 B	コンビ・テンス1 A	コンビ・テンス2 A	コンビ・テンス3 A	コンビ・テンス4 A	コンビ・テンス5 A						
	コンビ・テンス6 B					コンビ・テンス6 A										
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。											
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。															
講義日程																
教科書 参考書																

●時間割

地域総合医学 地域総合診療医学コース

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10					地域医療学1,2	
5 限	18：00～19：30	地域総合診療医学基礎修練4	地域総合診療医学基礎修練1	地域総合診療医学基礎修練2	総合診療医学1.2	地域総合診療医学基礎修練3	
6 限	19：40～21：10	特別研究Ⅰ・Ⅱ					
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10					地域医療学1,2	
5 限	18：00～19：30	地域総合診療医学基礎修練4	地域総合診療医学基礎修練1	地域総合診療医学基礎修練2	総合診療医学1.2	地域総合診療医学基礎修練3	
6 限	19：40～21：10	特別研究Ⅰ・Ⅱ					

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						